

「コロナ本人訴訟」萩原さん訴える！

言うことをきかない奴はコロナに感染してしまえっか！

コロナ禍で大幅にダイヤが減便された東海道新幹線。列車の整備・清掃を行うJR東海の関連会社「関西新幹線サービック」で驚くような事態が発生しています。列車の減便に伴い整備・清掃作業も大幅に作業量が減り、4月25日から必要要員以上の出勤予定者を有給休暇としました。ところが、有給休暇であるにもかかわらず、「自宅待機で課題を提出しろ」と『社員の心得』や『就業規則』の写経を強要するという事態が発生、組合員の萩原さんは「有給休暇で課題を出すのはおかしい」と、この課題を提出をしませんでした。それでも1ヶ月間は自宅待機を指示されましたが、5月25日、突然、自宅待機から除外されることになりました。実務の責任者である山崎副所長は「課題を出さないから、他の人に自宅待機させる」と主張しコロナ感染症拡大防止対策のためだった自宅待機は、一転、コロナ感染の危険にさらされることになりました。

本日8月5日、萩原さんは、自宅待機外しと危険な感染リスクにさらされた事は違法として、関西新幹線サービック会社の小寺社長と、第一事業所の竹腰所長、山崎副所長に対して損害賠償請求で闘う事を決意し提訴しました。

提訴には、地本、関西地区分会の仲間が駆けつけ、萩原さんを激励し、共に闘う事を決意しました。

